

令和7年2月1日発行

明智地域自治区運営協議会だより

令和6年度第2回明智地域自治区運営協議会が12月19日（木）に明智振興事務所にて開催されました。内容は下記のとおりです。（出席委員数：運営協議会委員21名中19名、オブザーバー2名 傍聴者：3名）

1. あいさつ

【杉山会長】

今年も光秀まつり、花火大会、大正村40周年、恵那市の20周年、かえで祭り、WRC、恵那峡百周年、岐阜県では清流の国文化祭で山本芳翠の特別展示があり大変であったが、乗り越えてきた。本日の協議事項は次年度のまちづくり活動補助金の順位付等があり、慎重審議をお願いしたい。

2. 協議事項

(1) 令和7年度まちづくり活動補助金・活動交付金事業の承認について

【事務局】

- ・町内各団体から申請のあった、まちづくり活動補助金（単独実施分）5事業について申請内容を説明。明智町としての優先順位を付ける必要があるため、配布してある採点表に記入していただき、集計後に発表を行うこととした。
- ・明智町が主体となり、他の地域自治区と連携して実施する、まちづくり活動補助金（地域間連携分）1事業の申請について説明。事業名は、恵南地区「ロゲイニングでまちづくり」事業およびスポーツイベント事業。
- ・明智地域自治区への活動交付金について、事務費等の内訳を説明。

【杉山会長】

- ・コミュニティ助成金を申請し、今年度テント・机・椅子など250万円分購入し、備品として振興事務所で管理している。

【意見等】

- ・下ヶ淵イルミネーションについて、紅葉を売り出すことはいいことだが、土岐市の曾木公園のイルミネーションが中止になったことはスタディしたか。土岐市がやめたような事業を行う必要があるか。
→曾木公園は人材不足、高齢化でやめられたと聞いている。この事業は紅葉だけではなくホテル事業も行っており、恵那市の景観重要樹木にも指定され管理することは大変重要である。
- ・事業内容について承認。（各委員優先順位を記入）

(2) あけちまちづくりフォーラム解散に伴う事業等について

【事務局】

- ・「あけちまちづくりフォーラム」が令和7年3月31日に解散することに伴い、その事業、備品及び残金について、明智地域自治区運営協議会が引き継ぐことについてお諮りいたします。

【杉山会長】

- ・「あけちまちづくりフォーラム」では令和6年10月2日臨時総会にて承認されている。はじめは中津川市と恵那市の観光振興基金を各地域に配り、明智は4,000万円ぐらいだと記憶しているが、それが100万円程の残高になったもの。昨年までは、「みのじのみり祭り」の出展者へ補助金がでていたが、今年からなくなったため、そういった事業への助成金としてもいいと考える。

【意見等】

- ・明智地域自治区運営協議会が引き継ぐことについて承認。

(3) 地域自治区運営協議会委員の改選について

【事務局】

- ・明智地域自治区運営協議会の委員任期が2年間となっており、令和7年3月31日をもって終了する。

明智地域自治区運営協議会委員選考委員会内規により事務を進め、運営協議会の役員が選考委員となる。委員選考にあたっては、明智町の公共的団体のどの団体を運営協議会のメンバーとするかを決定し、明智地域自治区会長を選任する。選考委員会の開催時期は、後日役員に案内する。

【意見等】

- ・特になし。

(4) 部会の再編について

【事務局】

- ・賑わい部会と若者部会については、令和5年度より合同で部会を開催しており、地域計画の基本施策もイベントの相互連携や存続など共通していることもあり、令和7年度～【賑わい部会】【若者部会】を【賑わい・若者部会】に統合することについてご協議願いたい。

【杉山会長】

- ・先日開催したイルミネーション点灯イベントも、「まいまいくらぶ」と「賑わい部会・若者部会」合同で行い、寒い日であったが、大勢の人で賑わっていた、是非継続していただきたい。

【意見等】

- ・両部会とも賑わいやイベントなどかぶるところが多く、統合したほうが良い。
 - ・イベントを盛り上げるという意味では協力することは大事だと思うが、それぞれの部会に役割・目的があり、一緒になると焦点がぼやけてしまわないか心配。内容・役割をはっきりすることが重要。
- 内容・役割を明確にし、統合する

(5) 華風庵の活用について

【事務局】

- ・新町の華風庵の活用について。この施設は、平成2年に旧明智町に寄贈された施設で、以前は「財日本大正村」が市から指定管理をうけ管理運営を行っていた。現在は華風会の皆様が無償で管理し、お茶会など行っているが、あまり活用されていない状況。市観光交流課では、インバウンドも含め多くの観光客にこの施設を利用していただけるよう、「(株)ロマン亭」に管理委託を行い、集客を図る計画がある。地域のご意見をお聞かせください。

【意見等】

- ・駐車場は狭く、ごみ集積所として使用している。1年間とおして活用するにはトイレなどがなく難しいので、まずはイベントで内覧会をするなど知名度をあげ、将来は宿泊施設として時期を限定して使う。時期と機能を絞って使うのが良い。
 - ・ボランティアで管理しているものを有償で「ロマン亭」が管理するというのか。
- 市からの業務委託
- ・Airbnb(エアビアンドビー)、アゴダホーム、ロンリープラネット等を利用し、インバウンドの宿泊者を増やしてほしい。インバウンドは一棟貸しや文化に興味を持っている、岩村までは来ているようなので明智まで来てほしい。
 - ・解体するという案は出ていないか。
- ご寄付を頂いた貴重な建物であるため、現在は解体するという話はない。

3. 報告事項

○役員会の報告事項

(1) 地域おこし協力隊の受入れについて

- ・令和6年9月20日(金)に第1回役員会を開催し、令和7年度に地域おこし協力隊員を明智町で受け入れることについて報告。

○各部会からの報告事項

(1) 安心部会(開催日8/20)

- ・明智デマンド交通の利用状況等について、今年度デマンドバスの運行方法が大きく変わりました。変更内容は市街地を西と東に分け、平日に毎日運行可能となり、予約も出発の一時間前まで可能となった。使ってみたらよかったという口コミで徐々に利用は増えると思う。

【意見等】

- ・人が乗っていない、経済効率の検証をしているか。
- 循環バスは人がのっていないが、デマンドはちがう。検証は市が行う。

(2) 郷土部会(開催日7/22)

- ・11/17に恵那文化センターで開催「恵那の食・芸術・文化の祭典」にて「山本芳翠」大型紙芝居を披露
- ・11/30に岐阜県美術館で開催「清流の国ぎふ」文化祭2024「PARALLEL MODE:山本芳翠展」にて先人学習講座として「山本芳翠」大型紙芝居を披露(参加者120名)
- ・大型紙芝居の絵は山本芳翠の子孫の方が描かれ、「明智読み聞かせの会」の発表も立派なものとなり夢のある事業となった。引き続き地域の文化を守っていきたい。

(3) 賑わい・若者部会（開催日 6/6）

- ・来年度、部会が統合したら、明智の課題を座談会形式で行っていききたい。
- ・11/3に「かえでまつり」を久しぶりの単独開催で行った。賑わいを考え出店者の手配など行った。
- ・11/23の「世界ラリー」では、東方に10店舗、かえでホールのパブリックビューイングには5店舗出店した。レースのトラブルにより読み違いもあったが、今後活かすことができると実感した。
- ・12/14「イルミネーション点灯イベント」を「まいまいくらぶ」「賑わい・若者合同部会」「商工会青年部」合同で実行委員会を立ち上げ開催した。今年は2回目で寒い中、親子連れなど参加者が多数あり、多くの方に出店、協力いただき感謝する。

4. 各種団体・委員さんからのご意見・情報交換

- ・新しい時代の変化に向けて各団体活動されており、日々のあり方が結果的に経済効果につながっている。今までの既存のものではなく、新しい時代が来るという事を期待しながら活動してもらえばいい。
- ・いかに経済効果を得るかという事を主眼にしている。イベントにどうやって人を集めるか、その前後で波及効果を得るにはどうしたらいいかを考えながらイベントを計画している。「かえでまつり」ではふるさと券をボランティアのお弁当と抽選会の商品に利用し良かった。単独開催であったが人が来ていた。イベントに絡んで地域の業者・地域の方へ経済的にどういう風に回していけるか考えたい。
- ・大正村では、山本芳翠顕彰会の事務局を設け、岐阜県美術館で展示を行い大盛況に終わった。
- ・かえでまつり、ラリーに今回初めて参加した。今後も積極的に参加したい。
- ・ロマン会は少し前までどうやったら続けられるかを考えていた。今は解散を考えている。2年かけて今出ているポイントを全部回収して不信感をかわないように解散しようと話している。アメリカで10年くらい前からゼロエネルギーの家というのがあり日本の広島にもでき、宿泊料は5万から10万で予約はいっぱい。今後労働力の流動化が日本も起きてくる。現在フィリピンやマレーシア、インドネシアの方が恵那市にもたくさん働きに来ている。とても真面目な方達なので仕事を取られてしまうかもしれません。
- ・10月5日に恵那市役所の前で「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2024 えな」というがん征圧・患者支援チャリティ活動のイベントが行なわれた。約1,000名の参加者で様々な方が全国から来ていた。イベントと目的を持った他のイベントを掛け合わせるとより魅力に気付いてもらう機会が増えると思う。
- ・今まで、イベントに興味を持たずそれほど見に行く事をしていなかったが、実際にイベントに参加してみる事で色々なことが分かるので、明智の人にもっとイベントに参加してもらえるようアピールしたい。
- ・地域自治区運営協議会に初めて参加し、皆さんが色々な取り組みを頑張っている事を知った。どんな活動をしているか発信し明智がもっと盛り上がるといい。
- ・年末年始に向け夜警や出初式など地域の方に協力を願う。今後は消防団員も高齢化し定年で人員が減ってくる、今行われている行事にこれまで通り人員配置が可能かどうか課題となっている。消防団員は地域の皆さんの相談事を聞き協力をしていきたいと考えている。
- ・社会福祉協議会明智支部事業のご協力に感謝。コロナがあつて休止していた事業を再開したが人が集まらない。コロナを経て人の考え方が変わった、それに合わせてこちらも考え方を改めて取り組んでいきたい。
- ・今回、山本芳翠の絵を丁寧な説明を聞きながら見た、こんなに凄い人が明智にいたのかと驚いた。これからも多くの方に山本芳翠を知ってほしい。
- ・毎年ですが、恵那市のまちづくり補助金を活用して、親子と子どもが町の中で楽しめる活動をやっている。町の子も元気な過ごし方をしていけるような事を今後も行っていききたい。
- ・中学校PTAです。先日かえでホールで合唱発表会が行われた。歌唱力が凄くレベルが高いと感じ今後も継続できるといい。イルミネーションイベントは新鮮で楽しいイベントで今後も参加協力したい。
- ・恵那南高校ギターマンドリン部は全国大会へ出場して優良賞となり南高校への入学希望も増えている。今後も恵那南高校の活動を沢山の方に知ってほしい。地域の活動に高校生も積極的に参加できるといい。
- ・明智みらい会議では、空き家の紹介できる物件が少なく、ツアーの開催ができなかった。来年度はツアーを開催したい。イルミネーションは、千畳敷の上まで上がって見ることをもっとアピールするといい。明智中学校閉校にむけ明智だからできる思い出に残る式典にしたい。
- ・現在中学校の生徒数は98名。地域で中学生の居場所、活躍の場を考えてほしい。今後、地域の中に中学生のボランティア部のような仕組みを作りピンポイントで情報が伝わりやすく参加しやすい環境ができるといい。
- ・明智はものが言えない町になっている。4回傍聴し、自分が共有したい事を皆さんに伝える事ができず残念。市長に何度もメールしたが返答がない。大きな目標や達成感の無い会議をやっている。この5年間議題

はほぼ同じで本当にそれで大丈夫かと感じている。人口減少 30 年間で 3 割減少、明智は限界集落になる。人口を戻すためにはどうしたらいいのかオープンに、外の人も含めて話し合っていく必要がある。今のよう
な小さな文化事業をやって満足感ありましたとかそんなレベルではない。ズームを使ってインドの方とやり
取りを行うなど明智に住みながら不便なく仕事を行っている。今後リニアができれば、品川経由ですぐ海外
へも行ける。明智に住んでいる人がもっと住みよくなるようなことを行えばいい。定住者を呼び込み明智の
良さを知ってもらうイベントなどを行う。私は恵那南高校へ行き自身の経験や歴史の話をしている。地元
の方と高校生との交流を増やすと子ども達が明智に残り、一度出て戻ってきてくれる事につながる。

・3/16 日開催のクロスカントリーの協力を願う。SL 復元検討委員会において、SL 復元運行は可能、ただし
資金調達と事業継続が可能となる環境の整備が運行の条件となった。上下水道の審議会の委員をしており、
3,600 万円の赤字のため水道料金の値上げをしたいと議会へ報告があがっている。3 月の地域自治区運営協
議会で体育振興会から優秀選手に表彰式を行いたい。

5. その他

【事務局】

・まちづくり活動補助金 (単独事業) 集計結果の報告

1 番 空き家を活用した明智みらい事業 (明智みらい会議)

2 番 戦国歴史文化遺産 (山城、中馬街道、八王子神社) を活用した新たな魅力創出事業 (桔梗の会)

3 番 イルミネーション事業及び子ども遊び場整備と川遊び体験事業 (まいまいくらぶ)

4 番 下ヶ淵環境保全事業 (下ヶ淵イルミエール)

5 番 若者と高齢者が共に創る地域の絆結びと都市交流事業 (吉田地域活性化委員会)

※まちづくり活動補助金は年明けに審査会があり、結果について改めて報告する。

・次期地域計画について・・・令和 7 年度中に明智地域自治区 第 3 次恵那市地域計画作成

・明智地域の公共施設に係る現状と最適化に向けた説明会の開催について・・・令和 7 年 2 月に利用者等説
明会を開催

・あけちだよりに係る広告収入への取組みについて・・・R7.2.3(月)から 2.28(金)の期間、先着順で 8 枠、
1 枠年間 1 万円で広告募集、詳細は「あけちだより」1 月号

・次回運営協議会は 3 月中旬を予定

【オブザーバー伊藤市議より】

・デマンドバスに初めて乗車した。運行が毎日になり、予約が 1 時間前まで可能に変更された事で多くの方
が乗るようになったと運転手さんから話を聞いた。今は 3 便しかなく、1 時間間隔で回るためにはもう 1 台バ
スが必要で、そうなればさらに便利になる。活動補助金について、どの事業も町を元気にしているし重要な
取り組みをしていると感じた。すわがね登山へ県外の方が多く来ている。明知城に並ぶくらいの知名度があ
る、これも吉田地域活性化委員会が取り組んできた成果だと思う。1/11 日に明知城の現地説明会があり、令
和 10 年にいよいよ国指定になる。国指定になるのはいいが、問題はその後で、保存と活用が非常に問題。
奈良県の国指定になった飯盛城へ視察に行った。そこでは管理維持する団体、保存する団体、活用する団
体があった。明智の場合は誰がやっていくのか。桔梗の会が母体になっていただき地域の皆さんを巻き込み
ながら活動を進めていただけるといいと思う。

【オブザーバー平林市議より】

・明智のまちづくりを考える場として皆さんからいっぱい学んだ。このメンバーは議会的な役割と実行部隊
として大きな役割を担っている。門野や野志に公共交通が無いということで作って欲しいと要望があつた
が、全く乗車がない状況。門野では高い所に家があって降りていかなければならない、買い物してまた帰
るのが大変なのでなんとかならないのかとの意見がある。独居の高齢者が増えている。その中で、地域で買
物支援・ゴミ出しをするとか安心して暮らせる事も安心部会で考えていきたい。郷土部会では明知城の国指
定が進んでいるが、町民がもう一度この町の良さ、歴史の大切さを学ぶ事が大切だと感じる。賑わい、若
者部会については一緒になるという事は、もっと力を合わせて大きな力にしていく、もっと地域に呼び掛け
関係者だけじゃない方にも参加して盛り上がるような話し合いが出来るとうい。

問い合わせ先：明智地域自治区運営協議会事務局 (明智振興事務所内)

☎0573-54-2111

まいまいあけち

maimai akechi

